真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月13日

事務事業名	道路改良事業		担当課・係	建設部　建設課　道路建設係
政策名　No	4	「都市づくり」～暮らしやすさアップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	3	道路ネットワークの整備		

	名　称	初年度からの実績値の比較						目標値
		単　位	R7	R8	R9	R10	R11	R11
成果指標	市道改良率	%	74.1					74.6

事業内容

①道路改良事業
　狭あいな道路を解消し安全で円滑な交通を確保することにより効率的で機能的な道路ネットワークを構築する。
②道路舗装事業
　道路の安全と円滑な交通を確保するため、未舗装道路を舗装し、道路の安全性と通行性向上を図る。
③側溝整備事業
　降雨時に、道路に水溜りができることによる通行の支障があるため、側溝を整備し、水溜りの解消を図る。
④県単農道整備事業
　農作業及び農産物の搬出・農業機械その他諸車の通行の支障があるため、未舗装道路を舗装し、道路の安全性と通行性向上を図る。県の補助金を導入し整備を図る。

前年度の課題（Check）

・道路改良事業、側溝整備事業
市道113号線外16路線の整備を進め、延長0.5㎞の道路新設工事と延長0.6㎞の道路改良工事を実施し、市道の改良率は74.0%となったが、地域からは97件の道路整備要望が寄せられている状況である。

・道路舗装事業、県単農道整備事業
県単農道整備事業により延長0.4㎞を実施し、市単独事業として延長0.3㎞の舗装工事を実施し、市道の舗装率は97.8%となったが、旧二宮町の土地改良事業地内を中心に未だ多くの未舗装道路が残っており、地域からは133件の舗装新設要望が寄せられている状況である。

7年度振り返り

【1】実績（Do）７年度に実施した事業
道路改良事業は、市道203号線外10路線の全線拡幅路線を実施するとともに、令和7年度から新たに市道3394号線(上鷺谷一般道)外2路線の待避所整備を事業化し進めた。
道路舗装事業は、西田井地内の2路線のほか、県単農道整備の石島地内の1路線、砂ケ原地内の1路線の合計4路線を実施し、側溝整備事業は長沼地内の2路線を実施した。

【2】結果と課題（Check）
道路改良事業において、全線拡幅整備よりも事業期間と事業費が縮減でき、費用対効果が期待できる待避所整備を推進する必要がある。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　■ 予算削減　□ 予算増大　□ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと
道路改良事業において、待避所整備を推進するため、待避所整備箇所の完成写真をホームページに掲載するなど地域への周知を図る。

(2) 長期的な計画で検討すること
道路改良事業において、全線拡幅整備として要望されている路線について、待避所整備が費用対効果が高いことを説明し、待避所整備への移行を図る。